記者発表資料

平成２９年１月２５日
青　森　大　学
道の駅いまべつ
国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所

大学と「道の駅」の連携の取組に関する報告会を実施します

～「道の駅」いまべつと青森大学の連携～

大学と「道の駅」の交流・連携の一環として、平成２７年度より青森大学と「道の駅」いまべつ及び青森河川国道事務所の３者で連携企画型の取り組みを実施しております。学生たちが今年度取り組んできた内容に関しての『報告会』を実施することになりましたので下記のとおりお知らせします。

この取り組みは、国土交通省が大学・「道の駅」へ連携の呼びかけを行ったもので、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、「道の駅」が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、「道の駅」と大学がお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を実施するものです。

記

１．　日　　時　：　平成２９年１月３０日（月）　１４：００～

２．　場　　所　：　「道の駅」いまべつ（今別町大字大川平字清川８７－１６）
（別添位置図のとおり）

３．　出 席 者　：　青森大学　学生（４名）
青森大学　社会学科　教授　櫛引　素夫
「道の駅」いまべつ　駅長　山田　基

４．　連携内容　：　添付資料のとおり

記者発表先〔青森県政記者会　建設関係専門紙　津軽新報社〕

〈問い合わせ先〉

■連携企画の実施内容について
青森大学　社会学部　社会学科　教授　**櫛引（くしびき）　素夫（もとお）**
〒030-0943　青森市幸畑２丁目３－１　電話　017-738-2001(代)(内線 731)

■大学と「道の駅」の交流・連携全般について
国土交通省 東北地方整備局　青森河川国道事務所
調査第二課長　**佐々木（ささき）　耕嗣（こうじ）**
〒030-0822　青森市中央三丁目２０－３８　電話 017-734-4570(直通)（内線 451）

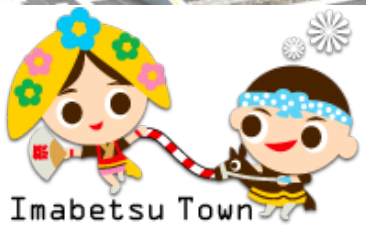
（位置図）

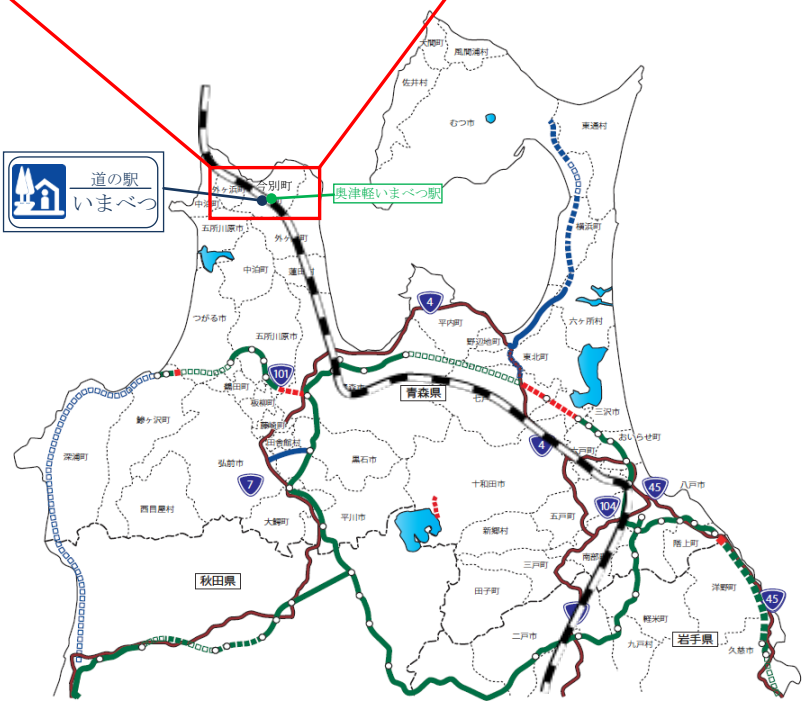
「道の駅」いまべつ　位置図



「道の駅」
いまべつ







「道の駅」いまべつ　活性化に向け青森大学と連携

2015年10月6日　国土交通省による、「道の駅」と大学の連携事業として、「道の駅」いまべつと青森大学が、連携協定の覚書を交換。
　学生の視点を生かした道の駅の活動支援事業が始まる。



連携は、学生が「道の駅」の商品開発や運営への提言を行う「連携企画型」で実施。



「道の駅」いまべつ・山田駅長へ聞取（平成27年度）㊤

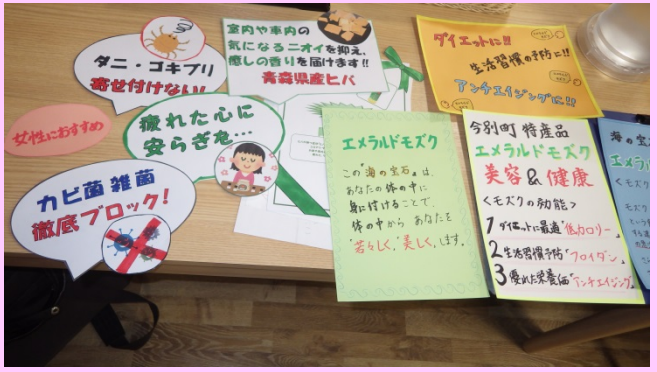
［ 平成28年度の活動の様子 ］



「道の駅」いまべつ・山田駅長へ聞取調査㊤



今別町内フィールド調査（奥津軽いまべつ駅）㊤



販売促進のためのポップ㊤

新幹線利用の観光客が「道の駅」や今別町をどう感じるか実感するための、フィールド調査を実施。

「道の駅」いまべつ山田駅長への聞き取り調査を5月、7月、10月の計3回実施。
　また、3回目の聞き取り調査時には、ポップの提案も行った。

平成28年度　提言

1. 物販について
2. 交通について
3. 情報発信について
4. 誘客について

「道の駅」と大学の連携について

参考資料

○ 「道の駅」における大学との連携、受入体制を整備し、若者の就労体験や交流の場として活用。
○ 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ地域外の若者が交流することで、新たな価値の創造を図る。
○ 道の駅と大学のニーズに応じ、「連携企画型」と「就労体験型」の2種類の形で実施

実施イメージ



※全国「道の駅」連絡会で双方のニーズをマッチング

これまでの実施例

＜連携企画型＞

京都府亀岡市、南丹市、京丹波町の道の駅
・京都精華大学の大学生が、道の駅で販売するスイーツパッケージをデザイン


包装デザイン打合せ

「かなん」（大阪府河南町）
・道の駅と大阪府立大学の大学生のコラボによりオリジナル弁当を開発


道の駅弁当「かなん冬の恵み」

＜就労体験型＞

「霧の森」（愛媛県四国中央市）

・地元イベントの企画立案、実施補助のほか、道の駅内で製造されている地元名産品の製造・販売の補助を実施。
・H25年度は10名受け入れ、うち7名は関西圏の大学から参加

・H15からこれまで約110名が実施
・そのうち2名が「道の駅」へ就職


大学生が企画したイベント


地元名産品「霧の森大福」